

# サイエンスアゴラ 2015 Future Earth セッション

2015年11月14日(土) 13:00-17:00 受付: 12:30-13:00 日本科学未来館イノベーションホール

Paul Shrivastava (Future Earth 事務局長)

“Future Earth Science for Society and Sustainable Development”

Owen Gaffney (Future Earthメディアラボ)

“Welcome to the Anthropocene (人類世へようこそ)” 他

鳴川 肇 (慶應義塾大学 環境情報学部 准教授)

“World without ends and without the center”

総合司会 谷口 真人 (総合地球環境学研究所)

地球規模の諸問題に関する様々な国際共同研究を統合し、地球の変動を包括的に理解するとともに、これらの研究成果を問題解決に活用し、社会転換に結びつけるための研究を行う国際的イニシアティブ、「フューチャー・アース」。その事務局長が来日、フューチャー・アースの目的や特徴についてお話し、メディアラボが地球環境変化に関するプレゼンテーションを行います。その後、持続可能な開発のために、研究に何が求められているのか、どうすれば研究と社会を結びつけることができるのか、フロア全体で議論します。(講演は英語、同時通訳あり。議論は日本語。)

## フューチャー・アース ～持続可能な地球社会に向けて～



フューチャー・アース メディアラボ:

21世紀に入り、地球環境変化の現状が加速度的に悪化していることが、様々な科学研究によって明らかになってきました。とはいえ、科学研究成果の表現は難しく、理解することはなかなか容易ではありません。Future Earth メディア・ラボは、難解かつ複雑な課題について、映像メディアを活用してわかりやすく表現する試みを行っています。いくつかの試みを共有することで、今後の伝え方、表現の仕方へのチャレンジを考えていきたいと思っています。

事前申込み定員: 先着50名

当日申込み定員: 先着30名

事前申込み期間: 10月20日～11月10日

事前受付方法: FutureEarth@chikyu.ac.jpまで、お名前、ご所属、e-mailアドレスをご連絡ください。

主催: 日本学術会議 フューチャー・アースの推進に関する委員会

共催: 国立研究開発法人科学技術振興機構・総合地球環境学研究所

futureearth  
research for global sustainability



# サイエンスアゴラ 2015

つくろう、  
科学とともにある社会

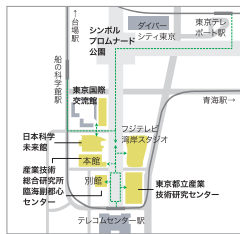


**11/13(金) ~ 11/15(日)**

10:00-17:00 入場無料 \*一部、実費をいただく場合があります

会場：東京・お台場地域

日本科学未来館、産業技術総合研究所臨海副都心センター、  
東京都立産業技術研究センター、東京国際交流館、  
フジテレビ湾岸スタジオ、シンボルプラザ有明公園



新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」東口下車 徒歩5分 / 「テレコムセンター」駅下車 徒歩4分  
東京臨海高速鉄道りんかい線「東京レポート駅」下車 徒歩15分  
\*東京レポート駅から日本科学未来館まで無料送迎バスが約15分おきに行きます

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

共催/協力：日本学術会議、国立研究開発法人産業技術総合研究所、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、独立行政法人日本学生支援機構、国際研究交流大学村、東京臨海副都心グループ、株式会社フジテレビジョン  
協賛：EuroScience、株式会社KADOKAWA、株式会社角川アールリンク

後援：内閣府、外務省、文部科学省、独立行政法人国立科学博物館、独立行政法人日本学術振興会、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、国立研究開発法人海洋研究開発機構、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、一般社団法人日本経済団体連合会、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会、全国中学校理科教育研究会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、日本科学技術ジャーナリスト会議、一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会